

## 告 辞

北海道大学-帯広畜産大学共同獣医学課程を修了し、北海道大学獣医学部を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、関係各位にも、お慶び申し上げますとともに、これまでのご支援に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的なアウトブレイクにより、北大全体の卒業式が中止になったことは大変残念ですが、皆さんは、微生物学、感染症学、衛生学を学んでおり、このウイルスの感染拡大を防ぐために、何をすべきか知っている専門家の一員です。そこで獣医学部は、皆さんの体調の確認、手指の消毒、マスクの着用、例年より時間を短くするなどの工夫をした上で、卒業証書を手渡すことにしました。皆さんに伝えたいことは沢山ありますが、このような状況下、私の告辞も短いものとします。

既存の理論や教義のことを「ドグマ」と言います。アップルの創始者のスティーブ・ジョブズは、「必要以上にドグマにとらわれるな。 重要なのは、自分の心と直感を信じる勇気を持つことだ」と言っています。同じような意味で、皆さんには「主観的な確信」を大切にしてもらいたいと思います。「主観的な確信」とは、「物差しがない物事を測る」、あるいは、「前例のないものを適切に判断する」、ための根拠となるものです。皆さんは、この6年間で、「前例がないものを適切に判断する」ために必要な2つの要素のうちの一つを身につけています。それは、課題論文研究を通して培った「客観的な科学思考力」です。もう一つの要素は経験です。皆さんは、大学生活の中で、様々な経験をしてきたと思います。これからも多くの経験を積むでしょう。その機会を積極的に活用して多くを吸収し、変化著しい社会の中で、前例のない事柄を自信と確信をもって自ら「決断」し、イニシアチブを取れる人材となることを祈念致します。

卒業するにあたり、3つのことをお願いしたいと思います。一つ目は、これまで皆さんを支えてくれた保護者への感謝を忘れないこと、二つ目は、北大獣医の卒業生として誇りを持つこと、しかし謙虚であること、三つ目は、この地で出会い、青春の多感な時期を共有したクラスメート、それから先生方との関わりを、一生涯の宝として大事にすること、です。

皆さんが修了した共同獣医学課程は、現在、日本にある最高の獣医学教育体制です。そこで学んだことを誇りに、自信をもって社会で活躍して下さい。

卒業、おめでとう。

令和2年3月25日

北海道大学大学院獣医学研究院・獣医学部  
研究院長・学部長 堀内 基広